

# 2023年12月期 決算説明会

株式会社 堀場製作所 足立 正之 代表取締役社長

## 説明内容

- 2023年12月期 決算概要
- 2024年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 中長期経営計画「MLMAP2023」の振り返り

#### く 免責事項>

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 説明内容

- 2023年12月期 決算概要
- 2024年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 中長期経営計画「MLMAP2023」の振り返り

## 2023年の振り返り

## 外部 環境

- ◆ 金利差拡大による円安基調継続、エネルギー価格高騰、インフレの加速
- ◆ 世界的な紛争の急増や、政治対立の深刻化
- ◆ 半導体市場の成長への期待が高まるも、依然として設備投資は調整局面
- ◆ 水素エネルギーをはじめアンモニアや合成燃料への投資拡大
- ◆ ライフサイエンス分野へさらに関心が集まる

## 内部 状況

- ◆ 3つのフィールドにおけるクロスセグメントビジネスが加速
- ◆ 水素エネルギー・ライフサイエンスなど新分野でのビジネス拡大
- ◆ プロセス計測分野での買収により、CO₂固定や製薬産業への展開を加速

# 2023年12月期 連結実績

(単位:億円)

	2022年	2023年		增	減	
	実績	前回予想 (11/13)		実績	対前年	対前回予想
売上高	2,701	2,840	*	2,905	+204	+65
営業利益	458	430	*	472	+14	+42
営業利益率	17.0%	15.1%		16.3%	<b>▲</b> 0.7p	+1.2p
経常利益	468	430	*	482	+13	+52
親会社株主に帰属する当期純利益	340	360	*	403	+62	+43
USドル(円)	131.62	141.00		140.67	+9.05	<b>▲</b> 0.33
ユーロ(円)	138.14	151.00		152.11	+13.97	+1.11

★ : 過去最高

# 2023年12月期 連結実績(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高				営業利益					
	2022年	2	023年	増減		2022年	2	.023年	増減	
	実績	前回 予想 (11/13)	実績	対前年	対前回 予想	実績	前回 予想 (11/13)	実績	対前年	対前回 予想
自動車	675	790	804	+128	+14	<b>A</b> 6	5	12	+18	+7
環境	225	250	<b>★</b> 249	+24	▲0	21	25	24	+3	▲0
医用	297	310	<del>*</del> 326	+29	+16	▲0	5	6	+7	+1
半導体	1,140	1,100	1,128	<b>▲</b> 12	+28	420	365	405	<b>▲</b> 14	+40
科学	362	390	<b>*</b> 396	+34	+6	25	30	24	▲0	<b>\$</b> 5
合計	2,701	2,840	<b>*</b> 2,905	+204	+65	458	430	<b>★</b> 472	+14	+42

★ : 過去最高

# 2023年12月期 連結実績(B/S、CF)

B/S

- ◆総資産は、棚卸資産の増加などにより、322億円増の4,490億円
- ◆自己資本比率は63.0%

(2022年12月末比)

CF

- ◆利益計上などにより、営業CF: +166億円 ◆設備投資などにより、投資CF: ▲73億円
- ◆配当金支払・短期借入金の返済などにより、財務CF:▲209億円

## 説明内容

- 2023年12月期 決算概要
- 2024年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 中長期経営計画「MLMAP2023」の振り返り

## HORIBAから見た市場環境の想定

全般



インフレによる世界的な金融引締めや、複雑化する国際情勢に引き続き懸念 補助金等を活用した設備投資需要は高く、経済活動は緩やかな成長が継続

自動車



水素エネルギー・バッテリー活用、車両のIT化のさらなる加速を見込む 欧州での排ガス新規制導入を見据えた内燃機関関連の開発投資需要に期待

環境



脱炭素の動向を受け、新エネルギー市場でのビジネス拡大を期待 環境規制需要は堅調に推移。半導体など産業プロセスへの拡大を見込む

医用



日本国内および成長市場での機器販売は堅調 医療機関受診需要の回復により検査試薬の販売が堅調

半導体



半導体市場は生成AIなどで成長が見込まれ、中期的に設備投資が拡大中国市場における半導体製造装置メーカーの成長と生産拡大

科学



様々な産業における開発および製造プロセス向け計測・分析機器が堅調 ライフサイエンス市場での需要拡大を期待

# 2024年12月期 業績予想

	2022年	2023年	2024年	
	実績	実績	予想	対前年
売上高	2,701	2,905	<b>★</b> 3,210	+304
営業利益	458	472	<b>★</b> 520	+47
営業利益率	17.0%	16.3%	16.2%	<b>▲</b> 0.1p
経常利益	468	482	<b>★</b> 527	+44
親会社株主に帰属 する当期純利益	340	403	370	<b>▲</b> 33
USドル (円)	131.62	140.67	140	▲0.67
ユーロ (円)	138.14	152.11	155	+2.89

# 2024年12月期 業績予想(セグメント別)

	売上高			ا ا	営業利益	
	2023年 実績	2024年 予想	対前年	2023年 実績	2024年 予想	対前年
自動車	804	<b>*</b> 940	+135	12	30	+17
環境	249	<b>★</b> 315	+65	24	<b>∗</b> 30	+5
医用	326	<b>★</b> 345	+18	6	10	+3
半導体	1,128	<b>*</b> 1,190	+61	405	420	+14
科学	396	<b>★</b> 420	+23	24	<b>∗</b> 30	+5
合計	2,905	<b>⋆</b> 3,210	+304	472	<b>∗</b> 520	+47

# 株主還元政策の変更

## 2023年度までの還元政策

- 配当金+自己株式取得= 連結純利益×30%を目途
- 残りは戦略的投資資金として内部留保

## 2024年度からの新還元政策

- 配当金
  - = 連結純利益×30%を目途
- 投資機会と資金状況等を総合的に勘案し、 特別配当や自己株式の取得を機動的に実施

## 配当金及び自己株式の取得

- 2022年実績 245円【中間 65円、期末 180円】
- 2023年実績 290円【中間 80円、期末 210円】
- 2024年予想 265円【中間 80円、期末 185円】+自己株式取得50億円

## 資本効率の向上

- 資本コストを意識した経営
- 株主還元策の実施

• 成長戦略遂行による利益創出

#### ROE

(Return On Equity) 自己資本当期純利益率 X

#### PER

(Price Earnings Ratio) 株価収益率

#### PBR

(Price Book-value Ratio) 株価純資産倍率

## 説明内容

- 2023年12月期 決算概要
- 2024年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 中長期経営計画「MLMAP2023」の振り返り

## 自動車

# 2023年実績/2024年予想

#### 2023年実績

- ※1 Mechatronics (自動車計測機器)
- ※2 Engineering Consultancy & Testing(自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験)

#### 【排ガス】

- Heavy-duty vehicle (トラック・バス) 向けの需要増
- エンジン排ガス装置の維持管理需要を取り込み

#### [MCT<sup>\*1</sup> · ECT<sup>\*2</sup>]

- 電動化や水素エネルギー関連需要を取り込み→販売増
- 水素エネルギーやバッテリーなど成長分野への投資拡大

#### 売上高・営業利益推移 (億円)



#### 2024年予想/中長期見通し

#### 【排ガス】

- Euro7等の各国の排ガス新規制導入を見据えた需要拡大 【MCT・ ECT】
  - 次世代モビリティ開発分野での拡販を見込む
  - 水素エネルギー関連の販売増→収益性改善
  - MCTビジネス: 電動化などの高付加価値製品へシフト→収益性改善

#### 自動車セグメント 新製品

自動車エンジンなどから排出される固体粒子を連続測定



## 連続固体粒子数測定装置 SPCS-ONE

欧州の次期排ガス規制で導入が検討されている、ブレーキやタイヤの摩耗で発生する粉塵などの測定ニーズに対応

## 収益力改善: MCTビジネス

## MCT(FC/Battery除く)

- 電動化に対応した試験需要の拡大
- 内燃機関への投資継続に伴う試験需要も回復
- 生産効率改善と高付加価値案件に特化した営業活動
  - → 2024年での黒字化を計画

# MCTビジネス売上高推移 (単位:億円) FC/Battery MCT (FC/Battery除く) 55 34 146 173 2022年 2023年 2024年予想

## FC/Battery

 主要投資
 2022年6月 eHUB\*稼働 生産能力を3倍に 増強
 FC関連製品の国内生産に着手グローバル拠点でエンジニアリングカを強化

 人員
 約100名増加

 受注残高
 約3倍

# 2023年実績/2024年予想

#### 2023年実績

#### 【ガス計測】

- 環境規制関連需要が堅調で、欧州において販売増 【水質計測】
- 電子産業などの製造プロセスで水質計測機器の販売増
- 環境規制対応で水質計測機器の需要堅調
- 買収したTethys社(仏)製品を含めアジアでの販売増



## 2024年予想/中長期見通し

※1 Carbon dioxide Capture,Utilization and Storage(二酸化炭素回収・有効活用・貯留)

- 環境規制関連、産業分野でのプロセス計測需要増を見込む 【ガス計測】
  - 電子デバイス産業での需要の増加を見込む
  - 新エネルギー対応やCCUS<sup>※1</sup>関連の需要増加に期待
  - 買収したProcess Instruments社(米)製品をエネルギー 市場に拡販

#### 【水質計測】

• 電子デバイス産業での環境規制対応による需要増加に期待

#### 環境セグメント 新製品

電子産業やガス製造プロセスにて多様な超微量ガス をモニタリングする分析計を発売



#### AP-380シリーズ

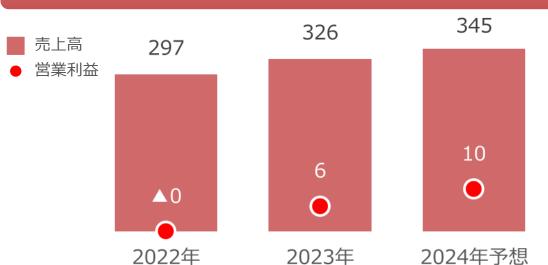
- 半導体・センサー・電子部品などの 製造エリアにおける分子状汚染物質 の監視
- ガス製造プロセス中の不純物の監視
- 自動車内の空気質検査などに貢献

# 2023年実績/2024年予想

#### 2023年実績

- COVID-19の様々な制限が緩和され、医療機関の受診機会が増加 → 検査試薬の販売が堅調に推移【欧州】
  - ・シーメンス向け血球計数装置の供給開始【日本・アジア・米州】
  - 血球計数装置の販売増に新製品が貢献
  - 生化学用検査装置及び試薬の販売が増加

## 売上高・営業利益推移 (億円)



## 2024年予想/中長期見通し

- 日本国内および成長市場での新製品投入
  - → 機器販売の増加と検査試薬販売の増加を期待
- シーメンス向け血球計数装置の供給が欧州より拡大
  - → 中長期的な収益貢献を見込む
- 免疫や生化学分野など、血球計数分野以外でのさらなる ビジネス拡大をめざす

#### 医用セグメント 新製品

白血球5分類測定を 3種の試薬で実現。



自動血球数装置 Yumizen-H500シリーズ 動物病院での血液検査ニーズの高まり

貧血/アレルギー/炎症などの症 状確認

> # 14th # 17th # 17th # 15th # 15th # 15th

→迅速な処置に貢献

動物用自動血球数装置 MicrosemiLC-712

## 地域戦略: 医用ビジネス

血球計測分野: 欧州、日本、アジア

生化学分野: 北米市場での地域戦略に集中し、早期に収益力を改善する

検査 血球計測 生化学 カテゴリー 大規模ラボ 欧州: 米州: ➤ Siemensとのアライアンス ▶ 2021年に買収した 病 → 50億円規模の販売増加を計画 大病院 HORIBA POINTE 試薬 院 ▶ 大型市場向けHELOソリューション 販売強化 → 40億円規模への 中小病院 日本: 販売増を計画 ▶ かかりつけ医での臨床診断の重要性を見据え、 その他の地域: 新製品ラインアップ拡充 診療所 日本: ▶ 米州からグローバルに ヘモグロビン 試薬を展開し、生化学 インド: A1cやCRPの ビジネスを展開 ▶ 製品ラインアップ拡充 即時検査 開業医 インドネシア: ▶ 現地生産体制を確立し、ローカライズ加速 Yumizen 病棟・手術等

# 2023年実績/2024年予想

#### 2023年実績

- 半導体メーカーの設備投資は調整局面にあるものの、 高水準な受注残高により堅調な販売を維持
- 中国市場での半導体設備需要が高まり、販売が増加
- 太陽光パネルや人工ダイヤモンド製造向けマスフローコントローラーなどの需要拡大(中国・インドなど)

#### 売上高・営業利益推移 (億円)



## 2024年予想/中長期見通し

- 2024年前半:半導体メーカーの設備投資は調整局面継続
- 2024年後半:市場の回復とともに需要拡大を期待
- センシング技術活用
  - → 半導体製造プロセス全体でのアプリケーション創出・拡大
- 異物検査装置のラインアップ拡充
- → 異物除去機能を加え、複合的なマスク診断を実現

#### 半導体セグメント 新製品

ガス制御性能のさらなる高度化を実現

→先端端半導体デバイスにおける微細化・三次元構造化などの進化に対応

#### 「CRITERION D700T」シリーズ

- 供給ガス切り替え時の高速応答を実現
- 超小流量の制御が先端メモリプロセス 等の歩留まり向上に貢献

## 半導体ビジネス:供給力拡充のための施策

## 日本国内生産拠点の強化



堀場エステック 京都本社工場

堀場エステック 阿蘇工場

## BCPへの対応

- ・災害や輸出規制等を想定したBCPシナリオプランの 拡充
- セカンドソースを拡充し、調達力を強化
- グローバルネットワークを生かした在庫配備と供給 力の強化

## 京都福知山に新工場を建設



堀場エステック 京都福知山新工場 2026年1月 竣工予定

## マスフローコントローラー主要生産拠点

玉	エリア
日本	京都・阿蘇・福知山
中国	上海・北京
韓国	京畿道 龍仁市
インド	プネ

20

HORIBA | © 2024 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

# 2023年実績/2024年予想

#### 2023年実績

- 先端素材やライフサイエンス市場へのアプローチ
- → ラマン分光分析装置/粒子径分布測定装置/蛍光X線分析 装置などの販売増加
- 半導体市場の減速
  - → 半導体製造装置メーカー向けなどの光学モジュールの 販売減少

#### 

## 2024年予想/中長期見通し

- 最先端の研究開発向け製品拡販
- 製造プロセス評価やモニタリングビジネスを拡大
- ライフサイエンス分野(製薬など)にグローバルにアプローチ
- 半導体市場の製造プロセス向けの需要拡大を期待

## 科学セグメント Topic

ライフサイエンスへの貢献 医薬品開発の高速化を実現

医薬品の品質管理向け 迅速検査装置

Rapid Raman Plate Reader



医薬品開発にかかる膨大な時間を短縮すべく、開発の自動化 や高速化に向けたソリューション提案をグローバルに展開

## 説明内容

- 2023年12月期 決算概要
- 2024年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 中長期経営計画「MLMAP2023」の振り返り

## MLMAP2023 5年間の振り返り

## 外部 環境

- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大・ワクチン開発・通信技術の革新
- ◆ 自動車業界の電動化対応・カーボンニュートラル市場の拡大
- ◆ 国際情勢の緊迫・エネルギー価格高騰・世界的な調達難
- ◆ 生成AI・世界半導体市場の拡大

# 内部 状況

- ◆ 既存のビジネス領域を新領域に適応するクロスセグメントが加速
- ◆ 日本(堀場テクノサービス)・中国(C-Cube)・欧州(eHUB)を中心 に設備投資を実施
- ◆ 積極的なM&Aを継続(TOCADERO社(独)・MedTest社(米)・BeXema社(独)・Tethys社(仏)・Process Instruments社(米))

# MLMAP2023 "ONE STAGE AHEAD" の振り返り

数値計画	MLMAP2023	2023年度実績	
売上高	3,000億円	2,905億円	
営業利益	400億円	472億円	
純利益	300億円	403億円	
EPS(一株利益)	711円	953円	達成
ROE	10%以上	15.4%	

## 重点施策

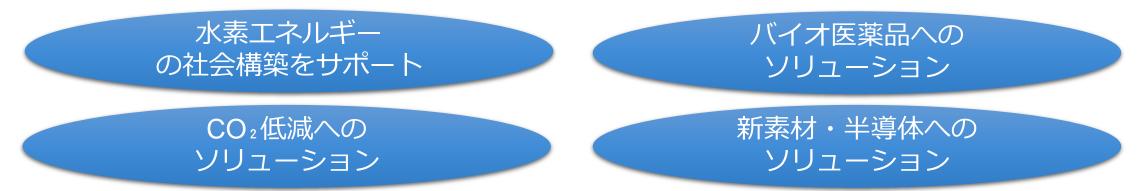
- Market Oriented Business
- Solution Provider Beyond Life Cycle Management
- HORIBA Core Values "The Next Stage of Super Dream Team"

24

## **Market Oriented Business**



クロスセグメントが生み出したソリューションの事例



25

# 水素エネルギー社会の構築をサポート

水素を主軸にHORIBAが培ってきたビジネスネットワークと分析計測を組合わせ、 カーボンニュートラル社会の実現に貢献

水素ステーション ▲ 水電解・水素製造に関 する評価装置





燃料電池・FCV・定置型燃料電池 工ンジン/発電タービンに関する評価装置

2018年に買収したホリバ・フューエルコン社(独)の技術力と HORIBAグループが保持する既存のアプリケーションを深化

つくる

エネルギー変換

つかう

環境プロセスが強みとする産業 (電力・ガス・石油)



自動車セグメントが強みとする 産業(自動車・重工業)



## CO2低減へのソリューション

工場や発電所等から排出されるCO2を分離・回収し、燃料等に再利用、 そのプロセスで必要不可欠な計測ソリューションを提供





## バイオ医薬品へのソリューション

アカデミアや研究開発で実績のあるコア技術をベースに製薬業界のキープレーヤー とのパートナーシップを通じて医薬品の開発、品質管理、製造に貢献



カスタマイズ製品開発 お客様とのパートナーシップ

ライフサイエンス領域で活用されてきたコア技術

水質分析

元素分析

分光分析

粒子計測

表面分析

## 新素材・半導体へのソリューション

半導体産業とのネットワークを活用し、工業用計器・分光機器を電子部品・半導体産業全体に適用しソリューションを展開





## 半導体産業の発展を支えてきたコア技術・ビジネスネットワーク





薬液濃度 管理



流体制御



HORIBA | © 2024 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

# Solution Provider Beyond Life Cycle Management

お客様の"困りごと"に寄り添い、全方位でソリューションを提供

世界19拠点のAnalytical Solution Plazaで 受託分析・テクニカルサポートを支援



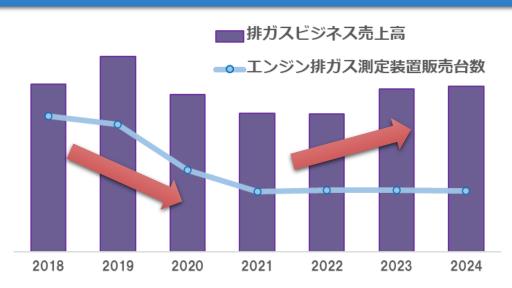
分析の自動化で 現場の効率・生産性を向上

「つながる」×「はかる」で省人化のニーズにも対応





## 排ガスビジネスを支える Service LifeCycle Management



- お客様のご要望に応える1つの選択肢として 製品販売が存在するというマインドセット
- 新規制に対応するアップグレードの貢献
- 計測ニーズが多様化することへの対応

HORIBA | © 2024 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

## **HORIBA Core Values** "The Next Stage of Super Dream Team"



## **Our Future Project**

グローバルの全ホリバリアンと創立100周年の指針となる 長期ビジョンOur Future (Vision, Mission, Value)を定義



## **Stained Glass Project**

多様な個性・才能が輝き、新たな価値を創造し続けるダイバーシティ活動。コロナ禍での事業継続にも貢献



## **BlackJack Project**

「従業員の意識と行動の変革」を目的とした独自の業務改善活動 各国の代表テーマから最優秀賞を決めるワールドカップを毎年開催



1997

2014 2022

2053

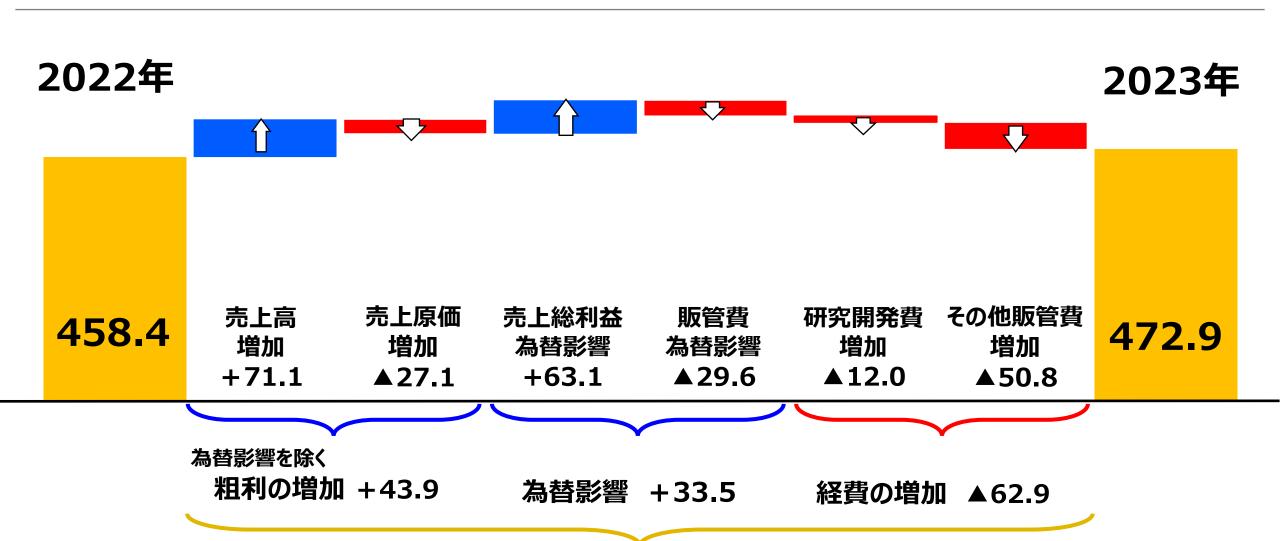




# ~決算詳細説明~



## 営業利益分析



営業利益増加 +14.5

# 営業外損益

	2023年	
売上高	2,905.5	
営業利益	472.9	
経常利益	482.5	\
親会社株主に帰属する 当期純利益	403.0	

		2023年	2022年
堂	業利益	472.9	458.4
	金融収支	14.7	1.9
	為替差損益	<b>▲</b> 9.4	2.1
	助成金収入	1.4	2.7
	その他	2.8	3.3
堂	業外収支尻	9.5	10.1
紿	Z 常利益	482.5	468.6

# 特別損益・法人税等

	2023年
売上高	2,905.5
営業利益	472.9
経常利益	482.5
親会社株主に帰属する当期純利益	403.0

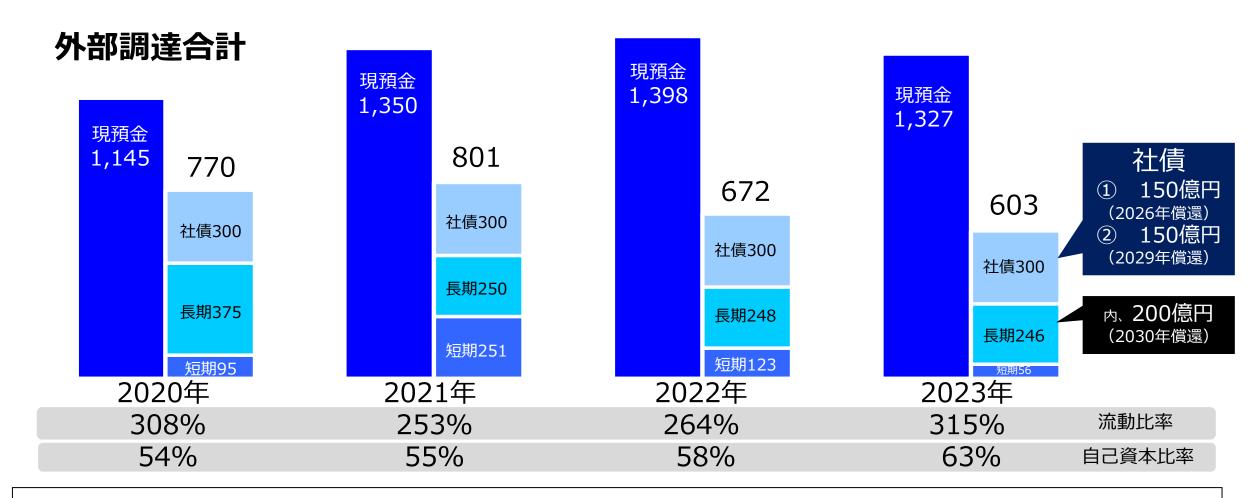
		2023年	2022年
糸	Z常利益	482.5	468.6
	固定資産売却益	0.3	5.1
	固定資産除却損	<b>▲</b> 0.5	<b>▲ 1.3</b>
	UGV事業売却関連損益	54.9	_
	その他	▲ 0.2	0.2
特	別損益尻	54.5	4.1
税	金等調整前当期純利益	537.0	472.7
法	大税等 など	<b>134.0</b>	<b>▲ 131.9</b>
	会社株主に帰属する 期純利益	403.0	340.7

# 連結キャッシュフロー

	2023年通期	2022年通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	+166	+339	<b>▲</b> 173
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲</b> 73	<b>▲</b> 107	+34
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲</b> 209	<b>▲</b> 224	+14
現金及び現金同等物期末残高	1,305	1,387	▲ 82
フリー・キャッシュ・フロー	+93	+232	<b>1</b> 38

## 資金の状況

(単位:億円)



・直近の格付け:R&I 「A」 (2023年9月)、JCR 「A+」 (2023年9月)

# 為替推移/想定レート/影響額

	2022年	2023年	202	24年
	実績	実績	予想	対 前年
USドル	131.62	140.67	140	▲0.67
ユーロ	138.14	152.11	155	+2.89

## 2023年 為替影響額(前期比)

(単位:億円)

	(— <u>  12</u>   100 37
売上高の増加	+ 133.0
売上原価の増加(逆符号)	<b>▲</b> 69.9
売上利益の増加	+ 63.1
販売費及び一般管理費の増加(逆符号)	<b>▲</b> 29.6
営業利益への影響	+ 33.5

## 為替感応度(2024年通期予想) 1円円安による売上高/営業利益の影響額

	売上高	営業利益
USドル	+ 7.3	+ 2.8
ユーロ	+ 4.0	+ 0.3

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

	2022年	2023年			2024年		
	実績	前回予想 (11/13)	実績	対 前年	対 前回予想	予想	対前年
設備投資額	125	115	91	<b>▲</b> 34	<b>▲</b> 23	230	+138
減価償却費※	113	120	126	+12	+6	140	+13
研究開発費	185	210	204	+18	<b>4</b> 5	226	+21
(対売上高比)	6.9%	7.4%	7.0%	-	-	7.0%	-

※のれん償却費含む

■ 有形固定資産 トピックス 京都福知山テクノロジーセンター新棟 京都福知山工場など

# ご参考

# [参考]2023年実績/2024年予想 【半期ごと】

		2023年実績			2024年予想			
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売	上高	1,311	1,594	2,905	1,500	1,710	3,210	
	自動車	305	498	804	460	480	940	
	環境	113	136	249	150	165	315	
	医用	155	170	326	170	175	345	
	半導体	562	566	1,128	530	660	1,190	
	科学	174	222	396	190	230	420	
営	業利益	178	294	472	210	310	520	
	自動車	<b>▲</b> 21	33	12	5	25	30	
	環境	9	14	24	10	20	30	
	医用	1	4	6	-	10	10	
	半導体	186	218	405	190	230	420	
	科学	2	22	24	5	25	30	
経	常利益	181	301	482	214	313	527	
親会当期	社株主に帰属する 引(四半期) 純利益	190	212	403	150	220	370	

# ご清聴ありがとうございました

☆最新情報はWebでも!

堀場製作所



☆お問合せ先

経営企画室 IR・ESGチーム

E-mail: ir-info@horiba.com



本資料は当社の著作物であり著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用すること、および第三者に開示すること(口頭を含む)は無いようお願いいたします。

HORIBA | © 2024 HORIBA, Ltd. All rights reserved.